

活動実施報告書 (令和6年度)

名称：社会福祉法人 伊敷福祉会 伊敷保育園

取組内容

園庭で見つけた生き物に触れ合い、観察することで、様々な発見や生命の尊さ、生き物への優しさを学ぶ。

取組結果・感想等

保育園の園庭にいた、蟻を発見し、しばらく観察していました。動かなくなった蟻をみて、「お母さんを探しているかも」「お腹すいたのかな」と心配になり逃がすことになりました。

また、巣作りにやってきたツバメに、興味津々の子ども達で、毎日のように見守りました。巣が完成するといつの間にか雛が生まれ、「あっ、赤ちゃんの顔が見えた!」「エサ食べたよ!」と間近で子育てするツバメに興味を持っている様子でした。生き物に興味を持ち、大切にしようとする気持ちは子どもたちに生まれているようでした。

活動の様子 (写真等)



取組内容

ツルムラサキの種で作った色水で、製作をする。

取組結果・感想等

ツルムラサキの種で色水を作り、匂いを嗅いだり、クエン酸や重曹を使って色の変化を楽しんだりしました。作った色水を使って、スポンジスタンプをしました。子ども達は植物からも色鮮やかな色水ができることに感動していました。

活動の様子 (写真等)



取組内容

鹿児島市のゴミの分別の仕組みを学び、実践する。

取組結果・感想等

子ども達に、家庭でどのようにゴミを分別しているか聞き、保育園で実際に絵を使って、分別してもらいました。

子ども同士で、分からないものは話し合っ分て分類し、更に活動が発展すると、「どうしてゴミを分けるのかな」「リサイクルしてるからだよ」など、ゴミの分別がリサイクルに役立つことにも気付いていました。ただ捨てているだけではないことを学び、家庭でも実践し今後に役立てそうです。

活動の様子 (写真等)



1年間取り組んだ感想・ご意見

エコ活動を意識した保育を取り入れ始めて7年目となりましたが、子ども達は新鮮な気持ちで取り組んでくれました。毎日の園生活の中で、虫を見つけたり、ツバメの孵化に遭遇した時には、生命の尊さを感じ、ツルムラサキのスタンプでは、植物の意外な性質を大発見することができました。また、ごみの分別では、なぜ? どうして? の疑問から考察し、様々な視点から学ぶことができました。来年度も、エコ活動を取り入れた繋がりのある充実した保育をしていけたらと思います。